

管理運営評価シート(令和4年度)

施設名称	高齢者生活福祉センターふれあい羽衣	評価対象年度	令和 4 年度
指定管理者名	社会福祉法人 村上岩船福祉会	所管課	介護高齢 課
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日(5年間)	評価者(課長)	大滝 きくみ

1 令和4年度の実績

(1)事業実績

利用実績	令和4年度当初入居者数 13名 途中入所3名、退所4名、年度末入居者 12名
サービス向上の取組	定期的に趣味の助長や季節の応じた行事を新型コロナウイルス感染症防止に配慮しながら、センター内を中心に実施した。

(2)管理経費

(単位:千円)

区分		前々年度 (2年度)	前年度 (3年度)	当該年度 (4年度)	合計	備考
収入	指定管理料	13,718	13,661	13,694	41,073	基本協定額: 68,501 千円
	利用料金	2,029	1,867	1,871	5,767	
	事業収入				0	
	自主事業収入				0	
	その他	136	37	34	207	
	収入合計 ①	15,883	15,565	15,599	47,047	
支出	人件費	10,174	10,292	10,311	30,777	
	福利厚生費	47	45	47	139	
	事務費	191	189	162	542	
	管理費	3,730	3,636	3,566	10,932	
	水道光熱費	2,049	1,839	1,881	5,769	
	修繕料	430	526	393	1,349	
	使用料・リース料				0	
	手数料・保険料	28	28	29	85	
	委託料	1,223	1,243	1,263	3,729	
	事業費	1,503	1,530	1,547	4,580	
	自主事業経費				0	
	その他	100			100	
	支出合計 ②	15,745	15,692	15,633	47,070	
収支差額(①-②)	138	▲ 127	▲ 34	▲ 23		

2 共通評価項目

(記入者)自己評価…指定管理者 所管評価…施設担当課

評価項目	判断基準	自己評価	所管評価	備考 (◎、△、×のときは評価内容、その他特記事項があれば記入)
公の施設の平等な利用の確保	事業内容等は、一部の市民や団体に対して、不当に利用を制限又は優遇するものではない。	○	○	
	社会的弱者の公平利用について、配慮されている。	○	○	
情報公開、個人情報保護の取組	情報公開、個人情報保護に係る措置が適切に講じられている。(書類の保管、社員への周知等)	○	○	
	情報公開、個人情報保護について、内部規約の整備や実施基準等が考慮されている。	○	○	
従業員の労働条件など法令遵守による管理運営	適切な労働条件や運営体制が確保されている。	○	○	
	関係する法律、条例等を理解し遵守している。	○	○	
業務仕様書の水準を満たしたサービスの提供	公の施設の管理運営にふさわしい理念やコンプライアンスの取組等、透明性の高い運営を行っている。	○	○	
	施設の設置目的を理解し、仕様書に指定された業務を実施している。	○	○	
創意工夫によるサービス向上と自主的な経営努力	サービス向上のための取組を行っている。	○	○	
	利用者の要望や意見を把握し、その対応方法が明確になっている。	○	○	
	施設やサービスの利用促進・拡大を図るため、適切な広報や的確な手法を行っている。	○	○	
	自主事業の実施方針及び内容は施設の設置目的を果たすものとなっており、効果的に実施されている。	○	○	
経営努力による経費縮減の取組	安全な管理体制及び事業実施に対して、適切な収支決算となっている。	○	○	
	縮減の取組がサービス低下につながらず、バランスが図られた事業内容となっている。	○	○	
	管理効率化等による余剰分を新たなサービス展開による施設効用の拡大につなげている。	○	○	
	新たな収入の創出等、経営の安定化に向けた独自の取組を行っている。	○	○	
適正な人員配置や人材育成の取組	適切な人員や有資格者の配置、勤務体制、労働管理となっている。	○	○	
	人材育成に対する積極的な取組が講じられており、職員研修等の人材育成に取り組んでいる。	○	○	
安定的な財務基盤による管理運営	指定期間で安定的な管理運営を行う財務基盤を有している。	○	○	
事件・事故や利用者への対応	苦情、事故、トラブルを防止するための具体策や対処方法は適切である。	○	○	
	利用者の安全確保と緊急時の対応・体制は適切に整備されている。	○	○	
地域貢献への取組	市内業者の活用や地元雇用の促進など、地域振興に寄与する事業内容である。	△	○	
	地域と連携した事業の実施や、地域活動への参加等による地域貢献に取り組んでいる。	○	○	

◎:協定等の内容を超える水準で業務を履行している ○:協定等の内容どおり業務を履行しており適正

△:協定等の内容に対し、一部不履行がある ×:協定等の内容に不履行があり改善の必要がある -:該当なし

3 業務実施上の課題(指定管理者が記入)

(1) 指定管理業務実施上の課題
知的、精神的に障害のある入居者は専門的な施設等に入居していただくことが望ましい。状態としてはふれあい羽衣対象外と思われる方もいるが、別の生活場所や居場所がなく対応に困っている状況が続いている。 条例(利用者範囲)第5条自炊のできる程度の健康状態にある者で、自炊部分では該当しない入居の方はほとんどで、11月から空室が2部屋あり、ようやく令和5年3月に満室12名入居となった。施設見学希望者にはパンフレット等準備し、施設見学や説明等も合わせ丁寧に行っている。
(2) 課題解決に向けた取組
入居については事前に情報収集し、入居判定委員会で検討し判定する。 入所者の対応が困難な事例があった際は、必要時地域包括センター職員や関係者(家族や施設職員等)による会議を開催し今後の生活や問題点について検討した。
(3) その他
①利用者からの主な意見や苦情、対応策
年に1度、入居者対象に満足度調査を実施している。また、入居者からの意見や苦情等については、随時検討し対応している。
②その他

4 全体的な評価

(1) 指定管理者の評価
入居者の加齢が進み、内服管理や金銭管理に支援が必要な方が増え、家族、村上市、担当介護支援専門員、成年後見人等と連絡、調整し適宜支援している。また、認知機能の低下等により見守りが必要な方もいる状況。新型コロナウイルス感染予防のため、地域との交流を深めることは難しかった。発熱があった入居者には抗原検査を羽衣園看護師が実施し、ご家族に連絡し病院受診を進めたり部屋で過ごしていただいた。入居者の外出については、病院受診や買い物、デイサービス利用等が中心であった。
(2) 施設所管課の評価
入居者の加齢が進み支援が必要な方が増加しているが、関係者と調整を図りながら個人にあった支援方法を検討し、入所者の要望や相談にも個別に随時対応するなど適切に対応している。研修や委員会へ参加し、必要な知識の習得、資質の向上を図っている。施設の管理も適切に行われている。
(3) 次年度の管理運営に対する指導事項等(施設所管課)
引き続き、新型コロナウイルス等の感染症防止対策をはじめ入所者が健康で安心して生活できる施設運営に努めていただきたい。